

■本当によくわかる電験3種の過去問完全解答 2020年版 第1巻  
 における正誤表

○2020年5月17日

科目	問題	誤植箇所	誤	正
理論	2015年 問12	ワンポイント解答 2 1行目	物体の初速度が $v_0$ [m/s]のが加速度 $a$ [m/s <sup>2</sup> ]で運動	初速度が $v_0$ [m/s]の物体が加速度 $a$ [m/s <sup>2</sup> ]で運動

○2020年5月24日

科目	問題	誤植箇所	誤	正
理論	2015年 問12	解答	$t_1 = lv$ [s]	$t_1 = \frac{l}{v}$ [s]
	2018年 問13	解答(b)(c)(d)(e) それぞれ2箇所ずつ	出力電圧 $v_i$	出力電圧 $v_0$

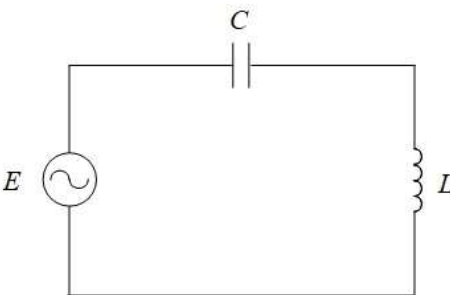
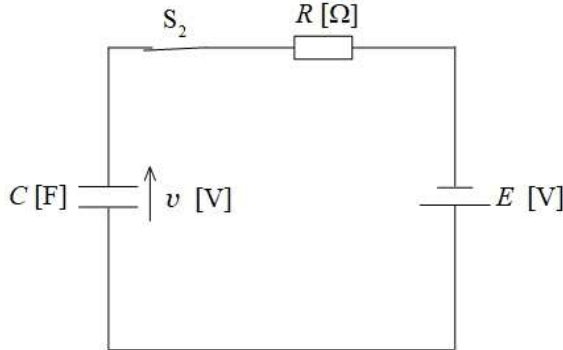
○2020年5月25日

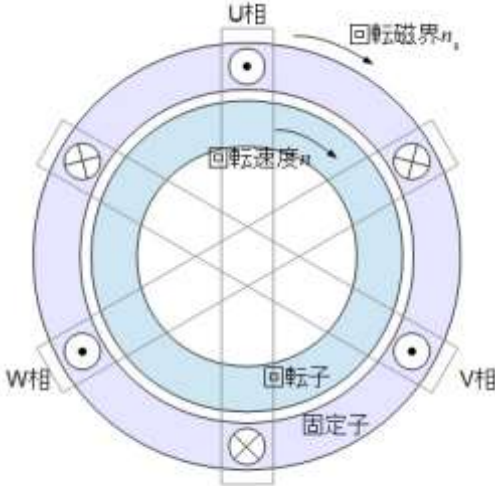
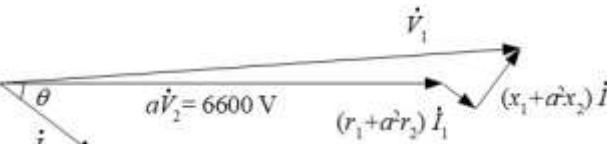
科目	問題	誤植箇所	誤	正
機械	2017年 問17	(b) 図2-1	解答文にまたがっておりました。	差替え PDF にて対応致します。

○2020年5月31日

科目	問題	誤植箇所	誤	正
法規	2015年 問10	【解答】 解答番号	解答：(3)	解答：(4)

○2020年6月21日

科目	問題	誤植箇所	誤	正
理論	2014年 問9	ワンポイント解答	図1がない	 <p style="text-align: center;">図 1</p>
	2014年 問11	解答	図3がない	 <p style="text-align: center;">図 3</p>
	2015年 問15	ワンポイント解答	図1	図3 (図の番号を変更したのみ)
		解答(a)	図2	図4 (図の番号を変更したのみ)
			図3	図5 (図の番号を変更したのみ)
		解答(b)	図4	図6 (図の番号を変更したのみ)
	2017年 問18	解答(b) 5行目	図2-2	図2-1
電力	2019年 問7	ワンポイント解答 1	表に表番号の記載がない	表番号を追記
	2019年 問15	ワンポイント解答 1	図1	削除
		ワンポイント解答 1 5行目	図2	図1

機械	2015年 問16	ワンポイント解答 2 1行目	図4	図1
	2016年 問3	ワンポイント解答	図1がない	 <p>図1 三相誘導電動機断面図</p>
	2018年 問15	解答(b)	図3がない	 <p>図3</p>

○2020年7月24日

科目	問題	誤植箇所	誤	正
機械	2017年 問11	ワンポイント解答	<p>図2</p>	<p>図2</p>

○2020年8月13日

科目	問題	誤植箇所	誤	正
法規	2015年 問2	ワンポイント解答 2 2行目	届出を事業開始の30日前に行う	届出を事業開始の日から30日以内に行う

○2020年8月25日

科目	問題	誤植箇所	誤	正
法規	2015年 問2	問題文 c.	c.電気用品の電線の構造又は (ウ) の事業を行う者は,	c.電気用品の電線の製造又は (ウ) の事業を行う者は,

○2020年8月31日

科目	問題	誤植箇所	誤	正
機械	2019年問15	解答(b)	$\cos \theta_B = \frac{7300 \times 10^3}{\sqrt{3} \times 6600 \times 1000}$ $\approx 0.798$	$\cos \theta_B = \frac{7300 \times 10^3}{\sqrt{3} \times 6600 \times 800}$ $\approx 0.798$
法規	2019年問8	解答 d	<b>d:不適切</b> 電気設備技術基準の解釈第 68 条 68-1 表の通り, 横断歩道橋の上に低圧架空電線を施設する場合, 電線の高さは当該歩道橋の路面上 <u>3.5 m</u> 以上の高さを保持するよう施設しなければなりません。	<b>d:不適切</b> 電気設備技術基準の解釈第 68 条 68-1 表の通り, 横断歩道橋の上に高圧架空電線を施設する場合, 電線の高さは当該歩道橋の路面上 <u>3.5 m</u> 以上の高さを保持するよう施設しなければなりません。

○2020年10月11日

科目	問題	誤植箇所	誤	正
理論	2017年問13	問題文	バイアス抵抗 $R_3$ の値 [ $M\Omega$ ]	バイアス抵抗 $R_B$ の値 [ $M\Omega$ ]

○2021年1月3日

科目	問題	誤植箇所	誤	正
機械	2019年問2	解答(2)	界磁電流による磁束のベクトルに対し, 電機子電流による電機子反作用磁束のベクトルは, <u>逆向き</u> となるため, 電動機として運転した場合に <u>減磁作用</u> , 発電機として運転した場合に <u>増磁作用</u> となります。細かいメカニズムを理解しても良いですが, 電動機=減磁作用, 発電機=増磁作用は覚えておきましょう。	直流機の電機子反作用は増磁作用や減磁作用といった概念ではなく, <u>電機子電流による電機子反作用磁束のベクトルが主磁束を強め合う部分, 弱め合う部分が存在</u> し, 磁気飽和により強め合う部分の磁束が一定以上強くならないため, 全体として界磁電流による磁束が減少してしまうという現象です。